

“わたしのまち”

# 江戸川区

## 水と緑に親しめる都会のオアシス、江戸川区

人と自然との調和をめざした、半世紀の環境まちづくり

江戸川区には、親水公園や親水緑道が多く、いろいろな地域で身近に水辺や緑に接することができます。まちを散策するだけでなく、夏は子どもの水遊びに、春や秋は水辺沿いを歩いて花や紅葉を楽しむなど、都会のオアシスを感じさせてくれます。また、区民による地道な努力と協力によって親水公園や親水緑道が十分に整備、活用されている取組が評価され、平成27年6月に「美しく国づくり景観大賞」を受賞しました。



### 「美しく国づくり景観大賞」を受賞

江戸川区は、かつて、約420kmに及ぶ河川や水路が張り巡らされた田園地帯であり、農業用水や水上交通路の役割を担うとともに、子どもたちが魚取りや水遊びに興じるなど人々は水と深い関わりを持っていました。

しかし、戦後の高度経済成長期となる昭和30年代以降は、多くの農地や水路が開発などにより失われただけでなく、公害やごみ問題など多くの環境問題が発生しました。そして、区内に残された河川や水路には生活排水などの汚水が流れ込み、当時の水辺の豊かさは失われ、一転ドブ川と化していました。

さらに、樹木数と公園面積「区民一人あたり10本10㎡」を目標に、まちにやすらぎと潤いをもたらす緑の確保を積極的に進め、河川や水路の再生によって、昭和48年には日本初となる親水公園（古川親水公園）が誕生するなど、現在の水辺と緑の調和したまちづくりの礎となりました。

こうした状況に対して、区では河川や下水道の整備を行うとともに、環境

また、地域住民が主体となり、環境をよくする運動をはじめ、各種団体による

## 区内に広がる都会のオアシス

「美し国づくり景観大賞」の表彰式。区と区民の協働による水辺の再生、緑と花の風景の創出が評価された



花と緑のまちづくりや親水公園を愛する会などが発足し、清掃活動をはじめ、花や緑の手入れなど各地域でボランティア活動が活発に行われ、地域のコミュニケーションが醸成される舞台となりました。区のこうした取組が評価され、NPO法人美し国づくり協会（理事長 進士五十八氏）の最高賞である「美し国づくり景観大賞」に選ばれ表彰を受けました。まさに、50年近く地道に取り組んできた区民との協働活動の成果が認められたものでした。

現在、区内には5つの親水公園と18の親水緑道、総延長27kmに及ぶ水と緑のネットワークが形成されており、区内の至る場所で豊かな水辺と緑を感じることが出来ます。

### ■古川親水公園

日本で初めての親水公園として昭和48年に誕生しました。一時期はドブ川となつた水路に旧江戸川の河川水を引き込み、かつてあつた自然の回復と快適環境の創造を目的として整備されました。

緑と清流の河川としてよみがえった

ことで、昭和49年5月には一般社団法人全日本建設技術協会「全建賞」を受賞、昭和57年5月にはナイロビで開催された「国連人間環境会議」で紹介されるなど、国内だけでなく世界各国で大きな反響を呼びました。

### ■小松川境川親水公園

小松川境川親水公園は区内で2番目にできた親水公園です。

公園は5つのゾーンに分かれ、滝、せせらぎ、水しぶき、飛び石、釣り橋に冒険船などさまざまな場所があり、夏には子どもたちに人気のスポットと

## 江戸川区の水と緑のネットワーク～親水公園、親水緑道～

江戸川区には5か所の親水公園と18路線17,680mの親水緑道を含め、総延長27kmに及ぶ水と緑のネットワークを形成している



数々の表彰を受ける古川親水公園

5つの変化に富んだゾーンが人気の小松川境川親水公園



四季折々の花や樹木が楽しめる新長島親水公園

区内初のボート場やデイキャンプ場のある、新左近川親水公園



自然とのふれあいを味わえる一之江境川親水公園

篠田堀親水緑道（下）と葛西親水四季の道（右）。地域に溶け込んでいる様子が伺える



地域ボランティアと児童による米づくり体験が行われる葛西親水四季の道





おすすめ  
スポット

## 水辺と緑を楽しめるホテルも

区の南部は東京湾に接し、葛西臨海公園は都心ではなかなか感じることのできない海辺の楽しさを体験することができます。春先には潮干狩りでにぎわいますが、最近では都内唯一の海水浴場としても注目されています。

その公園内にあるホテルシーサイド江戸川は、23区でも珍しい区立のホテルです。

「格式ある区内の宿泊施設でもおてなしをしたい」という区民の要望もあり、区への来訪者を迎えるために、このホテルが開業しました。公園の緑と東京湾の水辺が広がるロケーションも人気の一つで、一流のサービスと相まって、区への来訪者だけでなく、区民にも愛される人気のホテルとなっています。



ガーデンウェディングも人気のホテルシーサイド江戸川



東京湾に面した絶好のロケーションだ



季節の移ろいを感じさせます。また、小さな子どもたちが夏に水遊びを楽しめる広場が3か所整備されています。

### ■18路線ある親水緑道

親水緑道は区内に18路線、総計が1万7680mにもなります。すでに農業用水路として役目を終えた場所や蓋

をして生活道路としていた排水路を親水緑道として整備しています。それぞれ昆虫や魚などが棲めるよう整えたり、四季折々の草花など緑とせせらぎを楽しめる小道や地域性をふまえて歴史をテーマに整備したものなど、さまざまな種類の清流を再現しています。

## さらなる広がりを見せる環境まちづくり

現在、区では「景観計画」(平成23年)や「みどりの基本計画」(平成25年)を策定し、区と区民との協働によって水と緑の美しい景観や地域のつながりが

ども展開されています。また、区民から公募した「えどがわ百景」は、区内の景観ポイントを紹介し、まちの魅力を伝えていきます。

感じられるまちづくりを進めています。親水公園や親水緑道が整備される中、自分たちの地域に誇りを持ち、さまざまな活動を通じ地域の財産として守り育てようという区民の「地域愛」がま

今回紹介したおすすめスポットは、訪れた人が身近に水辺や緑を感じられるところばかりです。それらは区民自らの思いやさまざまな活動で支えられていると言えるでしょう。

### ■一之江境川親水公園

野川の再生をテーマに、自然と生きもののふれあいを味わえる親水公園として人気のある公園です。

ドブ川となつてしまった水路に魚や昆虫、水生植物が生息できるように、新中川の自然水を流し、自然の回復と快適環境の創造をめざしました。

公園とともに育まれた豊かな自然が

### ■新長島川親水公園

水の階段や噴水広場のある、見通しのよいゆったりとした区内3番目の親水公園です。公園では四季折々の花や樹木を楽しめます。川岸の斜面に白と黄色のスイセン約4万2千株が植えられており、春先の公園を彩ります。

さらに春先は桜の名所としても知られています。

### ■新左近川親水公園

新長島川親水公園の南側に隣接した、広い水面を持つ4番目の親水公園です。

区民による「アダプト活動交流会」や「公園ボランティア交流会」などを通じ、地域愛が育まれていく

